

としま 区議会だより

令和元年

第2回
定例会



No.270

広報編集委員会
豊島区議会事務局

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1 ☎03(3981)1453 http://www.city.toshima.lg.jp/kuse/gikai/
FAX03(3981)3975 E-mail A0028903@city.toshima.lg.jp

令和元年(2019年) 8月11日発行

「豊島区立学校設置条例の一部を改正する条例について」などを可決



巣鴨北中学校外観



巣鴨北中学校れんが通り



巣鴨北中学校内装(一部)

令和元年第2回定例会は、6月19日から7月8日までの20日間にわたって開会されました。

今定例会では、各会派議員による一般質問が行われたほか、区長提出議案21件を可決、議員提出議案は3件を可決、報告2件を了承しました。

請願・陳情は、2件を採択、4件を不採択、新たに4件を閉会中の継続審査としました。

可決した意見書 (要旨)

米軍普天間飛行場の辺野古移設の促進を求める意見書

宜野湾市民は、1945年に米軍普天間飛行場が建設されて以来、長きにわたり普天間飛行場とともに生活し、米軍基地の被害を受け続けてきた。市街地にある普天間飛行場の一刻も早い危険性の除去は宜野湾市民の切なる願いである。

豊島区議会は、国会及び政府に対し、我が国の安全保障を確保しつつ、沖縄の負担軽減策について最大限取り組みとともに、宜野湾市民の安全な生活を確実に守るため、米軍普天間飛行場の辺野古移設を着実に進めることを求める。

(衆・参議院議長、内閣総理・外務・国土交通・防衛・内閣府特命担当(沖縄及び北方対策)大臣あて)

婚外子差別撤廃のための戸籍法改正を国に求める意見書

婚外子差別の要因を除去し、戸籍実務上不要な事項を廃止して事務を簡素化するためにも、続柄欄を廃止することは極めて合理的である。

よって、豊島区議会は、国会及び政府に対し、次の事項について強く要望する。

1 戸籍法第49条第2項第1号を削除し、出生届における、嫡出子、嫡出でない子の別の記載欄を廃止すること。

2 戸籍法第13条第4号及び第5号を改正し、戸籍の実父母と

の続柄及び養親との続柄を廃止すること。なお、続柄廃止に伴い性別を明らかにする必要がある場合は、性別欄を設けるよう改正すること。

(衆・参議院議長、内閣総理・総務・法務大臣あて)

交通事故防止対策強化を求める意見書

平成31年4月19日、区内日出町第二公園交差点において、高齢者が運転する車が暴走し、2名が亡くなったうえ10名が重軽傷を負うという、大変痛ましい交通事故が発生した。また、全国で死傷者を伴う交通事故が多発している。交通事故を防止するためには、高齢運転者に対する運転免許証の自主返納促進、返納後の移動支援、安全な通行を確保するための道路交通環境の整備、事故の回避及び被害の軽減が可能な安全運転支援装置の普及など実効性ある様々な安全対策が求められる。

よって、豊島区議会は、国及び東京都に対し、交通事故防止対策を強化するよう強く求める。(衆・参議院議長、内閣総理・国土交通・法務大臣、国家公安委員会委員長、警察庁長官、東京都知事あて)

主な掲載内容

議案等の審議結果一覧	2面
区政のここが聞きたい ～一般質問(要旨)～	3～6面
常任委員会Q&A	7面
特別委員会活動状況/ 情報公開制度について等	8面

豊島区議会は、天皇陛下御即位に慶祝の意を表す賀表を奉呈いたしました

天皇陛下御即位を寿ぎ奉呈する賀表

天皇陛下におかせられましたは この度 風薫るよき日に御即位されましたことは まことに賀祝に堪えないところであります。天皇皇后両陛下が御清祥であられ 令和の時代の末永き弥栄をお祈り申し上げます。

ここに豊島区議会は 区民とともに 謹んで慶祝の意を表します。

令和元年六月二十六日 豊島区議会議長

区政のここが聞きたい

第2回定例会一般質問(要旨) 6月25・26日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

令和元年 としま新時代へ
次代の子供たちに繋ぐ
まちづくり



自民党豊島区議員
竹下ひろみ

誰もが安心して暮らし続けられる 魅力ある豊島



公明党
高橋佳代子

関係機関と連携、包括的な相談支援体制を構築し、切れ目のない支援になるよう努力する。
●食品ロス削減について
食品ロス削減推進法成立に伴う区の今後の対応は。

●高野区長6期目の区政運営に臨む基本的姿勢と抱負について

消費増税や米中貿易摩擦など不安材料を抱えての将来の財政運営の舵取りは。貯金と借金のバランス改善への具体策は。

4年度にはバランスが改善する財政見通し。インフラ整備や区有地の管理など社会経済状況の変化に応じた効率的、戦略的マネジメントの仕組みを検討。

●子供の安全安心対策について

子供が巻き込まれる悲惨な事故や事件が続く。区として道路や歩道の安全を点検し、危険箇所は早急に措置すべき。

警察を含め組織横断的に情報共有し確認することで、漏れない効果的な整備を実現する。

政府が保育園等の周辺で車を通行規制するキッズゾーン新設の方針を固めた。区の対応は。

詳細がまだ明らかでない。国の動向を注視し、関係機関と連携して積極的に対応していく。

全国的な児童福祉司の不足が事件の一つの原因。区の相談所の人員確保の現況と確保策は。

4月時点で正規職員を18名確保。さらに29名を確保し、4年には非常勤職員17名、臨時職員22名を加えた86名体制を想定。計画的に採用を実施。

児童相談所の設置には財源保障が課題。施設整備費など準備経費に関する都との協議は。

具体的議論に至っていない。関係経費は基準財政需要額での算定を、準備経費も設置区の経費が確認できた段階では普通交

付金での全額算定を強く求める。

●池袋駅周辺地域のまちづくりについて

4つの公園構想が形になってきた。5つ目として東池袋中央公園を新たなコンセプトで整備しては。考えと今後の展開は。

「公園が街を変える」中心的な役割を持つと確信。サンシャインシティらと意見交換し、明確なコンセプトのもと再整備計画を早急に策定し、取り組む。

東京オリンピック正式種目となったスケートボードは競技人口も増加。改めてスケートボードパークの検討を要望するが。

高架下や鉄道線路脇など池袋駅周辺で設置に適した用地選定に向け、積極的に検討する。



スケートボードパーク

●保育の質の向上について

保育士の魅力を広く伝え、なりたいたいを増やすための方策、保育士の資質及び専門性向上に向けた今後の取組は。

仕事の専門性や魅力を積極的に発信し、待遇や宿舍借上げなど福利厚生面もアピール。多様な研修の機会を充実。公開保育や合同行事など互いに学ぶ環境を整え、資質と専門性を向上。

●安全対策について

高齢ドライバー等の免許返納を促進するため、関係団体と連携した独自の特典等の検討状況は。

早急に準備に取りかかり、免許返納後の移動支援の観点から区独自の特典を提供していく。



免許返納の促進

都の自動車事故防止に効果的な装置の補助事業開始と合わせて区も補助を実施し、実質自己負担ゼロでの装置の設置を推進するように望むが。

都の9割補助と連携し、区が1割補助を行う準備を進める。

●安全安心なまちづくりについて

危険箇所について、警察署等関係機関と連携した安全対策に必要な整備の現状と今後の取組は。

危険箇所は区立保育園長経験のある職員が現場を確認し、指導・助言を行っている状況。今後、すべての保育所の園外保育の移動経路や危険箇所を地図に落とし込み、警察等へ情報提供や改善の申入れを行う予定。

町会の防犯カメラの保守・点検費用の区での助成は。

各町会の実情等を踏まえ、助成の実施に向け検討していく。

●子ども・若者施策について

幼児教育無償化における副食費の公費助成に加え、幼稚園でも相当の保護者負担軽減に取り組むよう求める。

保育所園児の給食食材料費は全額区が負担。幼稚園でも保育所と同様に、保護者が無償化を実感できるよう保護者負担軽減について早急に検討していく。

ひきこもりに関する訪問相談から就労支援まで切れ目のない支援の取組についての考えは。

東京大改革、国際アートカルチャー都市構想の実現を目指して



都民ファーストの会 民生
細川 正博

●総合高齢社会対策について

フレイル状態を予防し健康寿命を保つための区内全域での取組と展開方法は。

全域に拡大し、事業を推進する。今年度から区民ひろばと連携し出前型アウトリーチ事業を開始している。

●安全安心なまちづくりについて

高齢運転者に対する免許の自主返納を促すための特典などを周知する取組は。

早急に広報やホームページにわかりやすく表示する。警察と連携し人が多く集まる場面で周知していく。

福祉の視点を踏まえた高齢者の日常の移動手段に対する支援は。



IKE BUS (イケバス)

●安全安心なまちづくりについて

活動の安全確保・危機管理体制の構築に対する支援は。

統一したマニュアルを全園に整備する。園外保育経路や危険箇所等情報を盛り込んだ全体のマップを作成し、関係機関と共有する。

小中学校、幼稚園における門扉の自動施錠や防犯監視シス

テムの導入状況は。

来校者用扉は、自動錠が18施設、他15施設が手動。防犯カメラはすべての施設に設置。錠の実施状況は、早急な安全対策の実施を。

自動錠でない扉は徹底されていない場合もあると認識。錠の徹底を指導。自動錠タイプの扉整備に努める。

●学校における働き方改革について

学校徴収金の公会計化・システムの早急な導入を。

学校徴収金の公会計化に向けたシステム構築経費を、今定例会の補正予算案に計上した。教員が欠けたときの補充の現状及び現場の声を踏まえた今後の対応は。

非常勤講師や臨時的採用教員での補充が全般的な現状。教員の人事を扱う都教育委員会と学校の厳しい現状を共有し、バックアップする。

●コミュニティ・スクールの導入について

池袋本町小学校でのコミュニティ・スクールとインターナショナルセーフスクール（ISS）の両制度の関係についての教育委員会としての考えは。

学校の実情、取組実績を踏まえて、今後の在り方も含めてモデル事業の中で体制を検討し、整理・統合できるように支援。

千登世橋中学校で、ISSのノウハウをどのように取り入れるのか。各中学校ブロック内でのISS活動の横展開をいつまでに行うのか。

認証校である高南小学校の実践から安全安心教育推進について学び、小中学校が一緒に認識を高められるよう支援。2年

度にすべての中学校ブロック内に1校以上の認証校が誕生するため、認証校をリーダー校としてISSの全校化を進める。

区民のいのち・暮らし第一の区政に転換を



日本共産党 渡辺くみ子

●区長の政治姿勢について

消費税は低所得者ほど負担が重くなる逆進的税金。増税に反対し、国に中止を求めたい。

消費増税は社会保障制度維持の貴重な財源。反対しない。●区政に臨む基本姿勢について

池袋西口公園整備費や芸術文化劇場建設費等、今年度の東アジア文化都市記念事業費28億円を含め、今後5年間の投資的経費は1千167億円。区は「借金が貯金を上回る」として既存事業等の見直しを示唆した。これは必要な区民サービスを削減するものになるのではないかと懸念する。

●区政運営の基本は区民生活貯金と借金のバランス改善を前倒しで果たしたい。

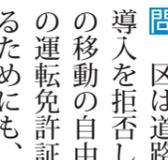
市街地再開発事業や造幣局地区まちづくり等を、住民無視の議会無視で進めている。住民合意のもとで議会の承認を受けたい。●区長の見解は。

議会や地域の皆様は、しっかりと説明責任を果たしていく。●日本共産党区議団のアンケートでは、税金や保険料のこれ以上の負担に耐えられないが77%であった。区民生活の実態の認識と、特に低所得者の負担軽減をするつもりはあるのか。

軽減措置をする考えはないが、生活困窮者には、きめ細やかな相談により丁寧に対応する。●国民健康保険制度の拡充を

国保は所得200万円以下の加入者が80%を超え、また均等割り負担など構造的な問題がある。高額な保険料の負担は限界であり、区民のいのちを守るため、一人当たり1万円の保険料引き下げを実施すべき。

クルの展開を控え、行政と協働する地域組織再編の検討を。再編には組織相互間の十分な議論と合意形成が必要。コミュニティ・スクールの試みにより、議論の進展に期待する。



立憲としま 谷隆尚

●高齢者の運転免許返納促進について

自主返納による区独自のメリットの提示や返納促進の区の見解は。

区独自の特典の提供の準備を進め、各種メリットの情報提供等を行っていく。返納促進は、交通事故防止の観点から重要なテーマであると捉えている。

●豊島区の財政運営について

今後数年間にわたる借金超過はバランスのとれた状態と言えるか。

今後5年間の「予算の大幅」を大幅に改定し、3年後には

変わらないことは問題。区独自でもすべての力を結集させ、強い姿勢で国に支援を求めたい。

●コミュニティバスの導入について

区は道路が狭い等の理由で導入を拒否してきたが、高齢者の移動の自由や高齢ドライバーの運転免許証の自主返還を進めるためにも、条件整備をし、コミュニティバスを運行すべき。



コミュニティバス

●子ども達が夢や希望がもてる豊島区を目指して

●児童相談所開設について

一時保護所の定員12名を超過した場合の対応は。

●池袋本町3丁目における弥生時代の竪穴式住居跡について

都市計画道路の予定地にある遺跡を保護・保存すべき。この件についての見解は。

●高齢者の運転リスクと、免許返納のメリットについて、高齢運転者ご家族までも含めた理解促進と周知徹底を。

●免許返納者も暮らしやすい、豊島区独自の交通補助施策につ



無所属元気の会 小林 弘明



無所属の会 わがい 哲代



相談体制



芸術文化劇場（写真の中央）

施設の維持管理、運営には

いて

タクシー補助や電動アシスト自転車の購入補助整備が重要。事業実施に向けて進める。

●運転継続リスクと免許返納メ리트を、高齢運転者のご家族まで含めてしっかりと理解してもらおうことについて

啓発物が確実に目に留まるよう、学校や町会で配布しては。より多く区民の目に触れるよう、工夫を図っていく。

●自転車保険について
23区初の加入義務化は以前

みんなで決めよう豊島の未来。



豊島ネット
塚田つばい

●ジェンダー平等の実現にむけて
区民へのジェンダーバランス平等の意識の浸透について。

「住民説明会」における質問者の男女バランス等、区職員が率先してジェンダー平等に配慮する姿勢を示すことで、多様性が尊重される地域社会を目指す。

●ひとりこしな子育て・介護・くらし
あらゆる世代において「社会的孤立」の問題がある。少数精鋭化による人員計画だが、必要な部署の人員や予算は削りながら

チャンスをつかめる豊島区を目指して！



あたらしい豊島の会
入江あゆみ

●引きこもり支援について
中高年への支援はどの部署が、どのように取り組む方針か。

アシスとしまでのノウハウを基に部局の壁を越えた包括的な相談支援体制を構築していく。



自転車保険の加入

から私が提言してきた。目標実現に向けた具体的な構想は。関連団体や街頭、チラシへの継続的な啓発から行っていく。

い方向でお願いしたい。福祉分野の人員体制は強化している。これまでの「削減ありき」とは異なる「総合的な定員管理の在り方」を検討する。



「ジェンダー平等の実現」は、目標の達成にもつながります。国連のSDGsの一つ。

一人でも多くの命が助かる社会！そして誰もが住みやすい豊島の未来に向けて！



自由民主党
池田 裕一



病児保育

3年生まで病児・病後児保育の対象に。やむを得ない場合は小学生を受け入れる柔軟な対応を。小学生を対象とした病児・病後児保育の充実が必要。診療所併設型施設の拡充やベビシッター等の派遣サービス利用による一部助成を検討していく。

●救命対策について
区内のAED設置数の推移は。

現在、AEDマップで公表している設置数は768台、その内24時間利用可能なものは165台。平成29年度と比較し、総数で138台増、この内24時間利用可能なものは90台増。

ペットボトルによる心臓マッサージの訓練キットへの見解及び活用の検討は。

訓練キットは、手軽に心肺蘇生の訓練を実施できる利点があり、心肺蘇生の技術を身につける動機づけとなる。訓練キットは今年度既に職員の救命講習に取り入れるとともに、防災訓練等のあらゆる機会に、区民への普及を図っていききたい。

誰もが安心して住み続けられる豊島区を創ろう



公明党
根岸 光洋

小規模公園活用プロジェクトの現状及び今後の展開は。
区内の小規模公園を活用し、民間事業者と協働し、公園利用者との井戸端会議を行っている。また、巣鴨公園を含む4つの公園・児童遊園をモデル選定し、ワークショップを開催している。今後、絵本や飲み物を提供する車両を公園に巡回させ、さらに魅力を高める展開をしていく。

●行政手続きについて
スマートフォン等で必要な
●巣鴨の街づくりについて
巣鴨駅前ロータリーを含む再整備の検討状況と周辺の新たな案内サインの整備状況は。
東京都との協議と同時に、巣鴨駅周辺地域を「豊島区都市づくりビジョン」にも位置づけしていく。また、賑わいのある巣鴨地区の状況を踏まえ、案内サインの整備を最優先で検討する。

●高齢者施策について
認知症サポーターとして、地域貢献を希望する方が活躍できる環境整備の方策は。

認知症サポーター養成講座終了後のスキルアップ講座を活用し、受講者が認知症の人を支援できるよう充実していく。

●キャリアバン・メイト養成の推進と、キャリアバン・メイトが講座を開催しやすくするための支援を要望する。
都の研修に加え、区独自の



豊島区立東池袋フレイル対策センター

●健康と福祉施策について
糖尿病による区内の透析患者数は。また、レセプトデータを活用した健診未受診者、治療中断者への受診勧奨を。

特定疾病療養受給者証の発行者数は約280名。レセプトデータ等の一部活用した受診勧奨は始めているが、今後、地区医師会と協議、連携を進めていく。

●教育課題について
いじめ相談に関するSNSを活用したアプリの周知、活用状況や、LINEを活用した相談への取組推進について伺う。

相談QRコード記載の文書を児童・生徒へ配布したが、QRコードが相談窓口の一つに加わった説明程度の活用状況。今後は都のLINE相談窓口に一歩化することを周知していく。

●東池袋交通事故の後、通学路や歩行者の安全対策を求める声に対して、区の取組は。
カーブミラーや注意喚起看板設置等、危険ポイントを減らし、安全を図っていく。

●大塚地域の整備について
都交通局と連携し、都電軌道内の緑化推進を促す。

●都は現在、軌道敷の緑化実証実験を行っており、区は都と連携し緑化を進めていく。

●公園政策について
AED



AED

●公園政策について

※アシスとしま…区内在住、在学、在勤の子どものからおおむね39歳までの若者及びその家族の方を対象とした総合相談窓口。昨年7月から本庁舎4階子ども若者課に設置し、様々な悩みについてのご相談を受け付けている。
※キャリアバン・メイト…東京都のキャリアバン・メイト養成研修を受講し、認知症に関する正しい知識や対処法等、講師となるための研修を修了した者。認知症サポーター養成研修の講師となる。

明るく活気のある街づくり



河原 弘明

●財政と行政改革について

経済の懸念材料もある中で今後の財政運営について。

過去の経験を踏まえ、年度間の財源の調整を図るための財政調整基金の目標残高を標準財政規模の2割以上と定め、安定した財政運営の確立に努めていく。不透明な経済動向に留意しながら、区の将来に向けた施策をバランスよく進める。

●東アジア文化都市2019豊島について

東アジア文化都市開催による区内への効果や影響は。

街中でのポスター等の掲出や、関連事業を各所で展開。国際的な視点を意識することで区の文化を再認識し、郷土愛や誇りを喚起する機会となった。



東アジア文化都市街中でフラッグを展開

●高齢者の引きこもり対策について

8050問題の捉え方は。「総合高齢社会対策」における重要な課題の一つだと認識。包括的な相談体制をつくることにも、各関係機関連携によるチーム対応が必要と考える。

●受動喫煙対策について 全面禁煙か分煙かを含めた

飲食店等の対策はどうするか。

「禁煙レストランとしま」への登録店舗の増加を目標とし、イベントや食品衛生事業での飲食店訪問、食品衛生講習会等を通じて、事業者に向けた周知を進める。

補助172号線の用地買収の進捗状況は。最近一年間は他地区の特定整備路線と比べてどうか。

用地買収率は平成31年3月末時点において約42%。一年間で約12ポイント上昇。この上昇幅は、他区間の中で最も上昇した補助26号線南長崎区間の約13ポイントに次いで大きなもの。

●トキワ荘関連について

地域部会の細分化による頻繁な討議と周辺商店街の空き店舗活用等を地域部会の中心議題として取り組むことについては。

地域部会の運営に当たっては、部会を細分化する形でテーマ別にグループ編成をし、重要なテーマの一つとして、周辺商店街の空き店舗活用や昭和の面影を残す景観保存についても取り組んでいきたいと考えている。

東長崎駅前交番に解説板等の設置を。道路のカラー舗装化により回遊性の向上を。

来年3月に設置予定の東長崎駅前交番の駅側通路上に「トキワ荘ゆかりの地看板」を設置しての交番の解説を考えている。道路のカラー舗装化については、南長崎地域の案内サイン等の整備との整合も図りつつ、地元商店街のご意見を伺いながら検討を進めていく。

区民の声をきき、だれもが安心して暮らせる豊島区を



清水みちこ

●羽田空港の増便に伴う新飛行ルート計画について

豊島区で初の教室型説明会が開催されたが、なぜ区長は説明会に出席しなかったのか。区民の命、財産を守るため、区に計画の白紙撤回を求めるべき。

常に担当部長から詳細な報告を受けており、出席しなくても良いのではないかと。国に白紙撤回を求めるつもりはない。



新飛行ルート

●子育て支援について

義務教育は無償が原則。今でも学校給食費負担は重く、消費税増税で負担増が懸念される。

はらはら、どきどき文化溢れる豊島区の次のステップについて



立憲としま さくま一生

●創造性、共感力を養う為の公立学校での表現教育について

本区から世界を席巻する人材を輩出するため、国際アート・カルチャー都市ならではのインプロ教育のような大胆な芸術表現教育を取り入れては。

今までインプロ俳優に馴染みはなかったが、まさに一人で語り、即興で芝居をする。夢を



芸術表現教育のワークショップ

語り、議場が劇場のようにも感じられ、これがインプロの仕事なのだと感じた。芸術表現教育としてカメルーンダンスサーによるワークショップを実施し、中

真に区民に寄り添う豊島区を目指して！



無所属の会 ふるぼう知生

●交通事故について

先般の事故を契機とした様々な提言への区の受け止めは。

いずれも重要な提案と受け止めており、各種提言の具体化に向けて各機関と連携していく。

区や管内の警察署が事故後、安全・安心に対する意識の啓発について工夫していることは。

警察と連携して、ポスターの掲示等を実施。今後、セーフコミュニティの特性を活かし、オール豊島で意識啓発を行う。

区から全国へ向けた発信及び今後に向けた具体的プランは。

政治とは『弱きものに光をあてること』すべての人に居場所がある豊島区へ！



安全・安心



立憲としま 川瀬さなえ

提供し、安定した生活が送れるよう支援。今後も他部局やハローワーク等関係機関との連携を緊密にし、地域全体でのセーフティネットを構築していく。



ひとり親家庭のサポートガイド

常任委員会

Q & A

総務委員会

開会日 6月28日(金)・7月2日(火)・3日(水)・8日(月)
 案件 議案11件・請願1件・陳情4件・報告9件

●元号を改める政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

改元によってかかる経費は、システム改修等を含めての予算は、30年度と31年度合計で、4千万円ほどを計上。

元号が変わったことによるシステム上の問題等の発生は、不都合や不具合があったという事は聞いていない。

●電気バスの買入れについて

消費税が10%になるが、本契約では、

国税庁のガイドラインによると、4月1日以降、契約があつて、10月1日をまたいで納品されるものについては、10%が課されるというルールになる。

●(仮称)雑司が谷公園拡張整備工事請負契約について

契約の相手方の公園土木工事の実績は、

本区では、南池袋公園第二期工事で同公園の約6〜7割を施工。地域との調整も丁寧。工期、仕上がりも良好に完成。

●池袋大橋アプローチ部耐震補強工事請負契約(一部変更)

公共事業設計労務単価の改定に伴う契約変更での引上額が、働く人の賃金に反映していることを検証する仕組みは、

各事業者から区に、直接雇用している従業員の賃金の上昇

分がわかるような名簿や下請との変更した新しい契約書等の写しなどを報告してもらっている。

このような老朽化した大規模なインフラの点検・調査をするルールや仕組みは、

橋梁の長寿命化計画を策定し、定期点検を行っている。来年も一斉点検を行う。

JR部分の発注はこれからだが、耐震補強工事終了予定は、池袋大橋全体としては、令和6年度の終了を考えている。

●令和元年度豊島区一般会計補正予算(第2号)

通学路安全対策経費での防犯カメラの増設の状況は、また学校により環境が異なるため設置箇所について十分な検討を。

今年度は8校、3年間で小学校22校の通学路の防犯カメラを各校5台ずつ増設して、既存分と合わせて10台ずつの設置を行う。町会、商店街の防犯カメラと調整を図りながら設置。

ふるさと納税制度が見直され5団体が増えた理由は、

度が趣旨を歪めていると判断された自治体は指定の対象外となる。東京都はふるさと納税制度自体に反対なので、指定を受けることをしなかったため。

●豊島区心身障害者福祉手当条例(一部改正)、豊島区難病患者福祉手当条例(一部改正)

これまでの控除対象配偶者の名称が変わったということか。

所得税法の改正により、以前の「控除対象配偶者」は「同一生計配偶者」という名称に改められ、このうち控除の対象となる合計所得金額が1千万円以下の者の配偶者等が、「控除対象配偶者」として再定義された。基本的には、対象者、手当の額に変更はない。

●養浩荘から池袋ほんちょうの郷への移転、運営開始について

池袋四丁目の施設が老朽化したため、池袋本町一丁目に施設を新築し、6月1日に利用者51名が移転した。

区民厚生委員会

開会日 6月28日(金)・7月2日(火)
 案件 議案4件・陳情2件・報告13件

●豊島区特別区税条例等(一部改正)

住宅ローン控除の控除期間が3年間延長されることになるが、なぜか。

消費税が10%に引き上げられることに伴い、建物購入価格の2%分を3年間で控除することとするため。



視察風景
(池袋ほんちょうの郷)

●豊島区立障害者福祉施設の指定管理者の指定について

福祉作業所の賃金を上げるために、クッキーや小物等の自主製品販売の場の提供や、

はあとの木への支援等。

指定管理料が若干引き上げられているが、その理由は、保護者から要望の強い送迎支援や、多機能型事業への対応によるもの。

都市整備委員会

開会日 7月1日(月)
 案件 議案2件・陳情2件・報告事項5件

●豊島区自転車の安全利用に関する条例(一部改正)

自転車利用者などに対する損害保険等への加入の義務化にあたり、すべての対象者が加入し補償を受けられる体制を。

万が一事故に遭った場合でも被害者・加害者の生活を担保できることが重要であり、すべての対象者が加入できるように広報紙等による周知を継続して行う。

条例において区の果たす役割は、

自転車の安全利用に関する意識の啓発と事故防止。また、関係団体の活動の支援、安全利用に関する事業の推進。

事業者に対して、具体的にどのようなことを求めているのか。

従業員に対する保険等への加入の確認。自転車の安全利用に関する意識啓発や安全利用促進に関する取組への協力。

保険の有無にかかわらず、事故を起こさない意識の啓発を行うっていくことが重要では。

区民に対する安全運転、交通安全に対するルールやマナーの徹底について、様々な場面で啓発を行っていく。

自転車販売業者が、購入者に対して、保険に加入するよう

啓発を行うための支援は、区が制度の周知を行うとともに、チラシ等を作成し業者に配布。それをもとに業者が保険加入の確認を実施予定。

学校に対する安全運転の啓発等の周知方法は、

インターナショナルスクールなどの一つの柱として、自転車の安全利用を進めており、より効果的な啓発方法の検討を深めていく。

安全を確保するためには、ヘルメットの着用も必要では。

幼児のヘルメットの購入補助を今年度も実施。また、今年度、高齢者のヘルメットの購入補助を準備中。

高齢者に対する自転車安全教室の内容は、

区民ひろばにおいて、交通安全教室を開催し、自転車の安全利用の方法や交通ルールの順守などを説明している。

子ども文教委員会

開会日 7月1日(月)・8日(月)

案件 議案4件・陳情1件・報告13件

●としま南池袋ミーツイングリッド条例を廃止する条例

としま南池袋ミーツイングリッドの運営経費及び利用率はどうであったか。

賃借料・委託料等を含めて年間約4千200万円。利用率は年々増加し、平成29年度が45.6%、平成30年度が67.8%であった。

新しい区民センターの利用者説明会で、南池袋ミーツイングリッドの廃止に対する意見はあったのか。

6月に3日間、説明会を実施したが、廃止に関する意見は出なかった。

●豊島区立学校設置条例(一部改正)

巣鴨北中学校の新校舎竣工に伴い、位置変更するものであるが、地域住民の意見は、新校舎に反映されているか。

住民とのワークショップを通じて、学びの場・防災等の拠点として、世代を超えて愛される学校づくりを目指す。

地域の防災拠点としての設備や機能は、

非常時、住宅地から学校へ入ることができない非常用扉・防災井戸・応急給水栓等を設置している。

新校舎内の防犯管理はどうする予定か。

防犯カメラ5台や来校者用扉には電気式で施錠・解錠する鍵を設置。

●豊島区放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例(一部改正)

放課後児童支援員認定資格研修が都道府県から政令指定都市まで実施可能となった背景は、

国に対する地方からの要望があり、研修需要に適切に対応するため。

●子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整理に関する条例

財源は、今年度、国の臨時交付金ですべて賄えるが、翌年度以降、3億8千800万円の負担増について区の認識は、

保護者の負担した保育料が歳入としてなくなる。その経費については、扶助費の扱いとなるため、区が負担すべき経費と考える。

特別委員会の活動状況

平成30年5月～平成31年3月

豊島副都心開発調査特別委員会

【開会日】 5月28日・6月15日・7月17日・9月14日・11月15日・12月14日・1月15日・3月28日

【付託事項】 副都心としての開発等の諸問題に関する調査

【調査項目】

- ①都市環境整備に関する諸課題
- ②交通環境整備に関する諸課題
- ③Harerza池袋周辺開発に関する諸課題
- ④JR関連の諸課題
- ⑤その他関連事項

行財政改革調査特別委員会

【開会日】 5月28日・6月7日・7月12日・9月5日・11月8日・12月13日・1月11日・3月26日

【付託事項】 特別区の事務事業及び財政制度に関する調査

【調査項目】

- ①地方自治制度に関する諸課題
- ②特別区の事務事業及び都区の税財政制度に関する諸課題
- ③その他関連事項

環境・清掃対策調査特別委員会

【開会日】 5月28日・6月6日・7月11日・9月4日・11月1日・12月13日・1月11日・3月26日

【付託事項】 リサイクル及びごみ問題並びに公害・環境問題に関する調査

【調査項目】

- ①環境対策に関する諸課題
- ②清掃工場対策に関する諸課題
- ③リサイクル・ごみ対策に関する諸課題
- ④交通安全対策に関する諸課題

⑤その他関連事項



視察風景（株式会社エフピコ関東エコベットの工場）

防災・震災対策調査特別委員会

【開会日】 5月28日・6月7日・7月12日・9月5日・12月6日・1月10日・3月26日

【付託事項】 防災拠点、避難路、避難場所等に関する調査

【調査項目】

- ①災害予防対策に関する諸課題
- ②災害応急対策に関する諸課題
- ③東日本大震災・平成28年熊本地震等に関する諸課題
- ④その他関連事項



視察風景（女川町役場）



視察風景（石巻市役所）

公共施設・公共用地有効活用対策調査特別委員会

【開会日】 5月28日・6月5日・7月11日・9月6日・11月6日・12月12日・1月9日・3月27日

【付託事項】 学校跡地、公共施設及び公共用地のあり方に関する調査

【調査項目】

- ①公共施設の再構築等に関する諸課題
- ②施設・用地の有効活用に関する諸課題
- ③その他関連事項



視察風景（旧第十中学校跡地）



視察風景（杉並区下高井戸運動場）

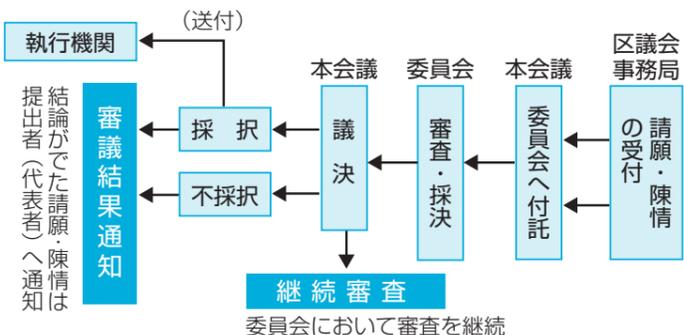
請願・陳情の審査方法について

提出された請願・陳情は本会議で委員会に付託されます。委員会では請願・陳情を慎重に審査し、その内容に議会として賛成できるものは「採択」、そうでないものは「不採択」、引き続き審査をしていくべきものは「継続審査」として本会議に報告します。

本会議では、委員会の報告をもとに最終的な意思決定（議決）を行います。採択されたもので、執行機関（区長や教育委員会など）が取り組むことが適当と考えられるものは、議長から執行機関へ送付します。また、必要があれば、意見書など関係機関に提出し、実現を要望します。

議会の結論が出た請願・陳情については、採否にかかわらず提出者（代表者）に結果を通知します。

請願・陳情の審査の流れ



豊島区議会 情報公開制度について

議会情報公開実施状況（平成30年度）

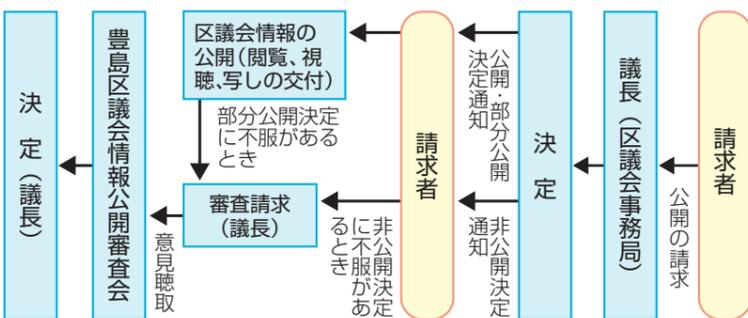
請求受理	決定内容		公開	
	内容	件数	方法	件数 枚数
2	公開	1	閲覧 写しの交付	— 1 6
	部分公開	1	閲覧* 写しの交付*	1 1 25
	非公開	0	—	— —

*請求は閲覧のみであったが、窓口で、請求者より閲覧文書の範囲内で、写しの交付を希望する申出があったため、交付したものである。

情報公開審査委員会

定数10名以内

- ◎竹下ひろみ（自民党豊島区議員） ◎会長
- ◎西山陽介（公明） ◎副会長
- ◎古堺としと（立憲としま）
- ◎芳賀竜朗（自民党豊島区議員）
- ◎儀武さとる（日本共産党）
- ◎高橋佳代子（公明）
- ◎細川正博（都民ファーストの会・民主）
- ◎里中郁男（都民ファーストの会・民主）



議会日程（予定）

令和元年第3回定例会

- 9月11日 告示
- 9月12日 請願・陳情締切※
- 9月18日 本会議（初日）
- 9月25日 本会議（一般質問）
- 9月26日 本会議（一般質問）
- 9月30日 常任委員会
- 10月2日 常任委員会
- 10月10日～25日 決算特別委員会
- 10月29日 本会議（最終日）

令和元年第4回定例会

- 11月12日 告示
- 11月14日 請願・陳情締切※
- 11月19日 本会議（初日）
- 11月28日 本会議（一般質問）
- 11月29日 本会議（一般質問）
- 12月3日 常任委員会
- 12月4日 常任委員会
- 12月11日 本会議（最終日）

※点字による場合は、別途、区議会事務局にご相談ください。

住所変更等のお知らせ

塚田 ひさこ議員
千早1-15-17富士ビル6階
電話 5917-4272

くつざわ 亮治議員
東池袋4-29-17-202

広報編集委員会委員

- ◎藤澤 愛子（自民党豊島区議員） ◎委員長
- ◎委員 長代理
- ◎ふま 三子（公明）
- ◎川瀬さなえ（立憲としま）
- ◎ふるほう知生（無所属の会）
- ◎清水みちこ（日本共産党）
- ◎河原 弘明（都民ファーストの会・民主）